

1. 教科書教材2つを「いかに正確に、いかに効果的に伝えて(書いて)いるか」という観点から分析し、
 - ①「匠の技として認定するところ」
 - ②「はっきりいって失敗しているところ」
 - ③「人によって評価が分かれるであろうところ」を洗い出したうえで集団で検討する。
2. 図書館の説明文の本を各自が選び、上記と同じ手法で分析、レポートし、表現方法から見てのおすすめ度を記す。
3. 160人分のレポートを回し読みして、さまざまな「匠の技」に注目する。
4. 学び取った「匠の技」からいくつかを選び、自分の意見文作りにかいて作文を書く。